

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 24 年 8 月 9 日(木) 19:30～20:00
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7名 出席委員数 5名 欠席委員数 2名

出席委員の氏名

中村 修／深田 剛／別府 美加代／里井 大起／浜地 龍介

欠席委員の氏名

泉 力／和田 美智子

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／中原 優子／元井 庸介／沖元 眞実

上野 紋／渡 武志／渡 陽子／宮田 愛

4 議題

審議(利文フウジのユムタぬイジュンゴについて)

5 議事の概要

- (1) 審議(利文フウジのユムタぬイジュンゴについて)
- (2) 次回の審議議題について
- (3) 事務局よりのお知らせ

6 審議内容

- (1) 泉委員、和田委員の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(利文フウジのユムタぬイジュンゴ)

深田委員長

夏場でお忙しい中集まって頂き、ありがとうございます。今日は泉さん、和田さんが欠席とのことですが、今回初参加の里井さんがいらっやっています。ひとことお願いします。

里井委員

ネイティブシー奄美で支配人をしております、里井と申します。本社は兵庫県なのですが、地元での雇用を大切に、ということから、ホテルの名前も「ネイティブ」となっています。地元の人間を支配人にしたいという社長の思いもあり、僕はここで生まれ育ったのですが、4代目の支配人としてはじめての島人の支配人となり、今年で4年目になります。よろしくお願い致します。

深田委員長

「利文フウジのユムタぬイジュンゴ」について審議を始めたいと思います。今回の議題、「利文フウジのユムタぬイジュンゴ」は、「島ユムタ伝える会」メンバーでもある城利文氏が、島ユムタの表現・単語の意味や由来を独自の視点で解説する、子どもの頃の思い出話、城利文作品集からの楽曲も交えた 15 分番組です。毎週月曜日 13 時半からのお昼時の番組ですね。再放送は毎週月曜日の 19 時半と毎週木曜日の 16 時からです。

内容についての感想やご意見、時間帯、15分という時間の長さについてなどの前向きな意見、アドバイスなど、いただければと思います。

中村委員

まず、聞いて思ったのが、城さんのキャラクターがすごくいいなと思いました。穏やかな口調、イジュンゴ(シマグチで“コンコンと湧き出る真清水”のこと)のようにあふれてくるような知識や雰囲気が良い。「シマグチを通してシマジマの文化を残していきたい、高齢者が棺桶に持って行ってはいけない」とおっしゃっていましたが、それが言葉のハシバシから感じられてすごくいい番組だと思いました。上野さんとのからみというか、上野さんがキャラクターをよく引き出していてとてもいいと思いました。“じいちゃん”と“お孫さん”がしゃべっているような、そんないい雰囲気さえ感じました。

BGMも、オカリナでしょうか？シンプルで聞かせる感じでよかったです。また、覆水音でしょうか？耳に心地よく入ってくると感じました。

あと、番組のスタイルについて、もう少し明確にしたほうが良いのではという気がしました。あまみエフエムで、英会話のOVAという番組がありますが、英会話のOVAは毎回、ひとつのフレーズのシマグチについて、中原さんとオバの掛け合いがあって、シマグチで、英語で、とパターンがはっきりしているので聞きやすい。今回のユムタのイジュンゴについては、面白くてためになるのですが、終わった後、前半で流したテーマであったはずのシマグチの印象が、後半で薄くなると思いました。英会話のOVAとは番組の尺も違うので、一概には言えませんが、一放送一単語、というスタンスをこちらにも活かしたら、ぼやけなくていいのではないかと思います。

それから、同じようなことになるのですが、(CDに入っていた)1～3話は、前半と後半で、話の内容の関連性が薄くなると思いました。それぞれ前半後半ともいい話でしたが、それぞれで関連性が切れてしまうのはどうだろうと思いました。ただ、4話目の回で、前半で「とらう(取り合う)」というキーワードが出て、それからスムーズに後半でその単語にまつわる「そういえば兄弟でけんかしたやあ～。」というような思い出話がありましたが、そのスタイルが良いなと思いました。それ以後の話を(放送で)聞いて居ないので、今どうしているかわかりませんが、その回のように、何かの話のネタなどがあれば、前半にキーワード、後半にそのキーワードについて説明・余談などというパターンではっきりしてしまったほうが良いのではないのでしょうか。作るほうとしては、話したい余談とか、思い出話があればそれを元に、キーワードのシマグチを探るという方法でもいいのではないのでしょうか。そういった、話のネタなど、利文うじなら持っているのではないのでしょうか。自分も昔ブログでシマグチのことを書いていたときがあり、そのときも、前半、後半のパターンがはっきりしているほうがやりやすかった経験があります。

あと、あまみエフエムには、利文うじのような、知識のある人が各シマジマに居るのではないかとと思うので、今後もそういった人をどんどん発掘してほしいと思いました。

深田委員長

中村さんのおっしゃった、前半、後半についてのことは、CDで何話かまとめて聞いたから気づけたところもあるかもしれませんが。審議委員としては、こうやって何話か通して聞くのも良いことだなと、中村さんのお話を聞いて思いました。

別府副委員

利文うじに会いたいと思える番組でした。すごくほのぼのしますね。上野さんを「アヤちゃんや～」と呼ぶその声の優しい感じが好きです。そして、「おおっ」と思う話の内容があり、あとは会話が流れていくといえますか、私

はその、わりと自由な感じが好きですね。その、流れる会話自体がBGMになるくらい自然にシマグチを使っているといえますか。さらに、上野さんが一生懸命シマグチを使ってる感じが新鮮で。

聞いている人にしても、なじみやすい番組ではないでしょうか。こてこてのシマグチでバリバリ話すよりも、聞きやすい感じではないかなと思います。回を増すほど上野さんのシマグチがうまくなっていく過程が感じられますし。

時間について、15分という尺はベストな時間だと思うのですが、今まで私はこの番組を聞いていなかったのですが、時間帯を、仕事帰りとか、朝の時間帯などに私は(ラジオを)聞くのですが、そういった、もう少し皆が聞ける時間でも良いかもしれないと思いました。あと、作品集からの歌も良いですね。「こんな歌もあるの」と思います。ただ、中村さんがおっしゃったように、もう少しテーマ性がはっきりすれば、なおいいのではないのでしょうか。また、「次は〇〇」など、予告などでつなげていけたりしてもいいかなと思いました。

深田委員長

中村さん、別府さんと続けて(おっしゃっていましたが)やっぱりうじの個性がむる(とても)出ていますね。会いたいと思います。

濱地委員

(サンプルのCDは)15分の4本なので、1時間ですね。1時間の間、ストレス無く聞けました。聞いていて、にやとしてしまいました。自分は、ああいうスタンスでもいいのかなと思います。

印象に残っているというか、ケンムンの歌が耳に残って、はまっています。

前後半のつながりは、お題があって、テーマがあって、後半があって。後半は、フリートークのような感じでよいと思う。普通のおしゃべりの中で上野さんがうまい具合に解説をしてくれていると思う。自分が方言になれていないので、うまい具合に解説をしてくれたと思います。自分としては好きな番組です。15分は、「もう少し聞きたいな」と思える、ちょうどよい長さだと思います。

里井委員

15分の尺も良いし、間に曲をいれるのもとても良いと感じました。自分の身内や親戚には分析や解析をして方言を教えてくれる人がいなかったのが、島としても財産というか・・・「人財」といえる人ではないかと思う。

各集落、集落単位には無理でも。各市町村にこういった方を発掘して、メディアやその他、行政などが、その人達が伝えやすいように、やりやすいように持って良く整備をしなければならないのかな、というその側面で考えることができました。

あと、前回までの議事録をちょっと見せていただいて、誰かが言っていたかと思うのですが、お題に入る前に上野さんと利文うじの会話がありますよね。その中で分かりづらい箇所があり、お二人ともゆっくりはっきりしゃべってくれるので聞き取りやすいし、耳に優しく入ってくるのですが、それでもわからないところがあるので、それに対して上野さんが、例えば「そうだね、〇〇だね」というように、オウム返しというか、進行の邪魔にならない程度に標準語で聞きなおす、言い直す、というように方言をフォローしていただければうれしいかなと思いました。

深田委員長

この番組には、スポンサーさんはついているのでしょうか。

一放送局 上野

ついていません。

深田委員長

黒糖メーカーなど、新しい企業さんではなくて、郷土の老舗のスポンサーさん、についてもらえば、面白いなど。テレビドラマで、主役の方が、CMにも出演するというのがありますが、そういうのと同じように、声も聞きやすいし、ナレーションで、CMまでつくったパッケージがあればいいのかもと思いました。

島ゆむタイムからのスピンオフといいますか、番組があつてそこから派生する番組という、ディの番組でそのようなものが生まれていくための、きっかけになるというか、良い手本になる企画ではないかと思います。とても聞きやすい番組なので、方言に慣れていない人も聞きやすいかも。(島内出身者であり、ある程度シマグチを話すパーソナリティーの)丸田さんや渡さんではなく、(島外出身者の)上野さんというのがまたいい気がします。たどたどしいといたら失礼でしょうか、一緒に成長していく感じがいい。途中で、何十回かやったあと、第一回目ものなどを入れてみるのもいいかもしれませんね。こんな風になりました、という成長がわかるので。

曲が間に入ることについて、知らない曲が流れるのが新鮮でいいと思いました。フクザツでなく、シンプルなのが、何でもそうだと思うのですが、長く続くためにもいいと思います。息の長い番組になるのではないかと思います。

ちなみに今、城さんはおいくつですか？

一放送局 上野

89歳です。

ーしゃべり方もしっかりしていますね。

深田委員長

この番組に対して、(放送局から)何か補足などはありませんか？

一放送局 上野

中村さんをはじめ、皆さんからいただいたご意見のなかで、前半と後半のマッチングについてですが、私もやりながら、8回目にして初めて関連性をつけてやってみた回を聞いて頂き、皆さんにご意見をいただきたいところでした。

最初のイメージでは、まずは単語が出てきて。まじめな話があつたそのあとは、茶飲み話でも、といった意味での前半、後半ということだったので、やっぱり関連性があつた方がいいよね、というのが何回か感じていて、同じようなことを何回かしたり、あとは回をまたいで「ケンムン話その①、その②」という風になどしてみたり、色々試して続けているところです。

また、皆さん聞きやすいというご意見をいただけてほっとしたところでもあるのですが、利文うじの方言が全開のときと、標準語に近いときとまちまちなので、そのように開きがある中で、シマユムタばかりでついていけないと感じられないかが気になっています。

ーその辺は大丈夫だと思います。お年を聞いて、(利文)うじにあれこれして下さい、というのは難しいのかもしれないと思いました(笑)。

深田委員長

昔の面白事件など、そういったおもしろエピソードを引き出してほしいなと思いました。89年という年月の間にお蔵入りされているようなネタがかくされているのではないかと。

一放送局 上野

スポーツの話をしているときに、「騎馬戦の歌が出てこない出てこない・・・」とっているうちに、突然歌い始めたり、「ドッチボールがうまかった〇〇君」と言う風に、個人のお名前が突然出てきたり。おっしゃるとおり、聞き方次第でいろいろ(な話)が出てくるかとも思ったりもしています。ネタが尽きないというか。最初、シチュエーションコメディーをしたいけれども、大変だろうか、とっていたのですが、最近は、利文うじご自身でのってくださるようになりました。

深田委員長

次の議題として、「その他」がありますが、なにかありますでしょうか。

無いようでしたら、次回の審議会のお題の番組の説明をお願い致します。

一放送局 元井より、前回の審議会でお題となった「語り継ぐこと」のイベントについての案内がある。

(3) 事務局からのお知らせ

一放送局 渡武志より次回の審議議題 「あますぼ ディ！ラックス」について

あまみエフエムの(番組の)中で、シマ唄や、シマグチを伝える文学的な番組はあるのですが、スポーツが盛んな島にも関わらず、スポーツについての番組がありません。月曜日のゆぶいニングアワーのなかで、群島内で行われた大会の結果を報告する、という「あますぼニュース」という1“コーナー”はあるのですが。“番組”がないなかで、今年6月に、半ば勇さんの持ち込みで企画した、スポーツだけをピックアップした番組を立ち上げました。先ほどスピノフという言葉もでしたが、あますぼニュースでは結果を伝えているので、この番組では、いろいろなスポーツをされているゲストの方がたをお呼びしたりして、スポーツの魅力や競技のおもしろさを伝えていく番組をスピノフという形でつくっています。なので、番組名はあますぼ“デラックス”ではなく“ディ！ラックス”です。(パーソナリティの)お二人はお二人ともボランティアパーソナリティで、長らくそれぞれ、勇さんは水泳を、湊さんはソフトボールに携わっておられ、色々な話を引き出していただけそうですが、まだ始まったばかりで、色々試しながらやっているんで、パーソナリティの進行だったり、こういうコーナーがあればもっとスポーツの魅力を伝えられるのではないかと、などありましたらご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

一放送局 丸田より、放送日時連絡などがある。

一放送局 麓より、ひと言挨拶がある。

次回の番組審議会を10月11日木曜日、19:30 からに決定し、閉会する。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成 24 年 10 月 6 日(土曜日) 6:00 から放送
- ② 書面の備置き:平成 24 年 10 月 6 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成 24 年 10 月 6 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし